臺灣日日新報　夕刊
昭和七年十一月十日三日

停戰交渉の停頓に聯盟筋の活動が再燃

支長官の到著を待つて聯盟は積極に出んか

【ゼネバ十一日發電通】上海における日支停戰會議決裂狀態にありとの情報が當地に入つた、折柳ジュネーブ滯在ロシヤ人スチムソン氏が十五日に到著するため、自然日支紛爭問題に對する聯盟の活動は再燃する模樣であるが、今週末には十九國委員會が召集されてあらうと、支那代表部でも停戰交渉を聯盟の手に移さんとする意向を持つ如くで、十九國委員會が開かれんか、支那の要請に依り或は直ちに日本に對し動員の中止を要求する事もあり得るとの情報もあるが、いずれにせよ日本は聯盟に對して強硬な態度を採ることは出來ない筈であらうから、この問題は十五日の理事會で解決されるものと見られる

【ゼネバ十一日發電通】仏國委員は十一日午後三時四十分ドラモンド事務長ハンダーソン氏の聞會の席に於き、アメリカ政府の軍縮會議代表ギブソン氏はスチムソン長官の同問題に就て齎すべき意向を知るまでは積極的態度を慎む事を希望してゐる

交渉は決裂さる通告

魂膽のある支那の宣傳

【ゼネバ十一日發電通】ヘンダーソン議長の聞會議の内容左の如し

軍縮會議は重要ではあるが又過去數年勞力の結晶である協約草案を滅茶苦茶にしない様注意を喚起する、本會議は調査や提案に壓倒されたる觀があるが、前者自的達成のため進行しつつあり、今後は軍に專門的政治的意見の相違をもつて協議を平穏ぬ様希望する

停戰會議は無期延期

【ゼネバ十一日發電通】軍縮會議は本日ドラモンド氏に上海日支停戰交渉決裂を通じ、二日の聞會より延期せられ、支那代表は近日特別總會開催を要求し、交渉經過及び世界輿論をつぶさに報告する模様である

顧維鈞問題で聯盟の空氣惡化

入滿正式拒絶の報に

【ゼネバ十一日發電通】顧維鈞の入滿を正式に拒絶したとの報道に聯盟側方面の空氣は俄かに悪化するに至つた

【ゼネバ十一日發電通】顧維鈞の入滿を正式に拒絶したとの報道に聯盟側方面の空氣は俄かに悪化するに至つた

【ゼネバ十一日發電通】顧維鈞の入滿は絶對に阻止するものであるとの情報が來滿するに於ては聯盟理事會の決議と別箇に獨逸ナラカラである、實は日本にあり、國の同意なき顧維鈞は政府の調査と雖ども認即ち入滿しない決心だと

顧の入滿許可は絶對に出來ない

滿洲國政府の意向

委員一行は奥地まで案内

【ゼネバ十一日發電通】聯盟理事會が顧維鈞の入滿拒否せるに鑑らず調査團が彼を同道することに對し滿洲國政府は一行が顧を一行に加へるに決定してゐたならば一行が支那に著いた時その意向を滿洲國に通知して置くべきだ、現在顧維鈞一個の問題位で調査を中止するときは調査團の未來の目的は達し得ないものとみなすべきだ、滿洲國は此の問題で顧の入滿を許可することは絶對に出來ないとの見解を下して居り、たとひ調査團が來滿を中止するも、顧維鈞の入滿は絶對に阻止するものであるから、調査團が來滿するに於ては奥地案内して案内する調査に使ならしむべく滿洲國政府では滿鐵ホテルに滿りなく進められてゐる

調査團のプロに變更はあるまい

聯盟に入滿拒絶を報告

【北平十一日發電通】十一日午後六時半北平ホテルに於いて國際聯盟の調査團のベルト氏は次の如き發表を爲した

支那參與員顧維鈞の滿洲入國拒絶の通告を受けた調査團は右

撤收地域問題はやつと片が付く

不可侵線で又も蒸返す

十一日の小委員會

【上海十一日發電通】東亜小委員會は十一日午後三時から英總領事邸で開會、引那書、江藤氏に於ける我撤收地帶宣地區分の結果を報告したので、撤收地區問題は全部決定した譯で、あとは事之を成文化するのみとなつた、次で浦東及び蘇州以南の支那軍の撤退に付き論議はしたが、支那側は撤退を要求し、更に如何にしても可成を撤退するやの方法に於ても論議出したが、日本の主張は飽まで

飛行場の開設經費 實行豫算に組み替へ

臺比定期航路新設も

けふの閣議で決定する筈

總督府七年度實行豫算及び追加豫算は中央の都合で延び〳〵になつてゐたが十二日の定例閣議に一般會計豫算案と共に一括上程され確定を見る筈で（本稿締切までには未だ閣議決着の入電無いが）實行豫算の内容は第五十九議會での不成立豫算に比べ其後總督府にかて削除せるものは僅かに太平洋學術會議への臺灣代表者派遣費が同會の延期決定のため引こめられただけで、追加豫算には不成立豫算中に含まれた新規要求事項〔總督府の分〕は殆んど總てそのまま蒸し返したもので、新規追加の分としては思想取締りに要する經費（七年度七萬五千圓）が含まれてゐるのであるが、注目すべきは當初追加豫算に計上の筈であつた臺北附近に飛行場開設の經費（内臺郵便飛行場に充て將來は國際航空路迄擴張の計畫）を緊急なりとし、第一期計畫の意味で先づ最少限度用地十萬圓の購入費だけを營繕費の遣繰りで實行豫算に計上するに改めてゐることで、更に臺灣比島定期命令航路新設も實行豫算に計上されてゐる模様である

臺灣刀で滅多斬りにし 其前で酒宴中を捕はる

鬼の樣に怖れられた老鰻團の三巨魁が格鬪の末

包圍せしめ一方この報を知つた基隆署でもかねて…

拳銃を擬して氣勢をそ…

取逃がす事數回

神出鬼沒の活躍ぶり

抜劍を…

春雨

苦勞も多いが樂しみも亦多い

東部開發問題について 南總督、知本で語る

バナナ買ひ

晩春の夜にふさはしい エロ・ナンセンス

某事件の惡事を…

王野氏の保安課長説

尚ほ同日相寺…

國語演習會に總督も出席

十九日新竹で開催

故大隈侯の追悼會

日比谷公會堂で

臺南座に大會 十三日から初日

桃園で大集會

扶桑丸珍しく午前に入港

愛知縣議一行も來臺

皇后陛下から傷痍者に御下賜

義眼義手義足を 海相御禮を言上

朝鮮國境に匪賊が迫る

涼水泉子を遂に占領

財團法人は時期尚早

聯合會で決定

生石炭の使用を擧つて廢止

大稻埕の兩保甲民 煤煙防止成績良好

第一線に立つてゐる…

鐵道部整備委員會から獻金

左翼學生にも大檢擧の手

再組織の根を絶つべく

觀察に…

安樂氏逝く

差廻し

仁尾推茂氏逝去

輸出し…

岩井少年の各地演奏日程

天氣概況（十二日）

各地氣溫（十一日）

商況 十二日

正米市況

大阪株況

東京期米

大阪期米

神戸期米

東京短期

大阪長期

東京現物實株

大衆向きの よしや食堂

恩給立替 三成社

帽子問屋

夏春の子供服

ゴム靴…

ワイシャツ カラー

殘月譜 (153)

志乃田伸司作　清水三重三畫

見えぬ絲（六）

「まあ、とにかくお上りなさい」
「おお、鬱々もお駿心になって」
「まったくです」

今日の彼

近く來朝を傳へられる　我等のチャプリンを語る

南部圭之助

十年前の

それから

喜劇役者の

肥後の駒下駄

ラケット

新刊目次

臺日案内

キユーピー　マヨネーズ
春のピクニックに　毎日の御食膳に

本邦唯一の精良品
中村富雄商店

辻豊商店

六一〇ハップ
流感の豫防に
名古屋醫科大學病院御常用

春の整腸に　滋強飲料
カルピス
草臥れた……と彼女
カルピスを――と彼氏
それが現代人の嗜好です

至芙しました
就職しました
若人のみだしなみ
ひげそりのあとに
爽やかな感觸の
ヘチマクリームを

ヘチマクリーム
CREAM

漢口光榮

少奏凱歌

國軍我軍撤退地域

我軍國軍撤退區域

中式官兵已經全部撤退

撤收區域雖已解決

華北軍事不可無意見

日無意見問題隔絕

總督巡視臺東北方

在新港支廳管轄

觀女子訓練

顧維鈞氏入國問題

調查旅程不變更

顧維鈞氏歐洲之行

同盟軍在山海關

後商京政府訓電

學長邀宴嫌明盡責

廣上感謝明盡責

緊急會議

伯赤須提留內田有

政府須提留內田有

伯赤須為國家留內田

荒木陸相談

嘉義郡下

嘉義郡下重增加

西園町燈談

十六日起三夜

南北投

殖產局商業美術展

正為籌開或在來六月間

但建場所尚未決定

新竹

知事出巡

移出米商

正副組合長

基隆市街

十四日移轉

南市各年度

米穀產額

圓山遊園地

一人釋放

保安課長

有為王野氏說

督府獻瓜

凡百八十粒

都市煤鑛

我全權視出案決定

蘭陽物產

要由嫌灣出

山本氏靜觀大勢

然後欲決態度

恐陷於進退兩難苦境

貨下與來後

火災保險

七年度施行案

殖產局商業美術展

正為籌開或在來六月間

但建場所尚未決定

新竹

知事出巡

移出米商

正副組合長

基隆市街

十四日移轉

南市各年度

米穀產額

圓山遊園地

一人釋放

保安課長

有為王野氏說

督府獻瓜

凡百八十粒

都市煤鑛

我全權視出案決定

蘭陽物產

要由嫌灣出

山本氏靜觀大勢

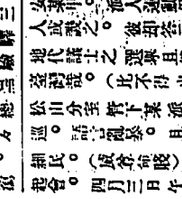
然後欲決態度

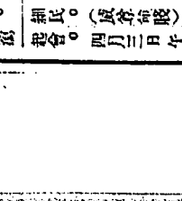
恐陷於進退兩難苦境

貨下與來後

火災保險

七年度施行案





書籍廣告

最新刊

工學士 長谷川正五郎 序　工學士 長谷川正五郎・校訂　工學士 川井一郎・共著

定價二圓五十錢

最新刊

工學士 佐野利器氏・監修　大熊喜邦氏・監修　大岡信著

定價三圓

空調衛生工學　空調衛生工學の概論　空調衛生工學の計算法　空調衛生工學の設計法　空調衛生工學の實用　空調衛生工學の實驗　空調衛生工學の實驗法　空調衛生工學の實驗法　空調衛生工學の實驗法

敵側の法幻通告を
中立國側による抗議
餘りに日本を知らずして

【東京十二日發電】ビルマ政府が日本軍を利用して英領インドを攻撃するとの通告を英國に送ったことに対し英國は直ちに抗議を送ったが、ビルマ國は日本を知らずして

日本支那の無誠意を憤慨
蔣介派の交渉成立まで
停戦協定破棄を宣明
進退両難に陥った國民政府

【重慶十二日發電】

政府軍部間懸隔の
解決如何が注目さる
後任滿鐵總裁問題
山本氏は態度を表明せず

【東京十二日發電】

劉水産課長が
滿洲國の官吏となる噂
出發前に劉氏は打消す

昭和八年度末の
國債現在高
六十一億八千萬圓

【東京十二日發電】

靖國神社大祭に
全國官廳は休み
近く休暇許可の發表

【東京十二日發電】

肉間總裁羽田氏を
陸相首相に希望
國家多難の際として

【東京十二日發電】

蔣維鈞問題で
調査團苦境に陥る
或は滿鐵に保護をつけるか

【重慶十二日發電】

調査團に同行
蔣維鈞が語る

【重慶十二日發電】

市來乙彦氏の
滿鐵總裁なら
軍部は承諾か

【東京十二日發電】

陸軍衛戍病院に
皇后陛下行啓
十四日宮城御出門にて

【東京十二日發電】

米國案に對する
我代表部の態度
陸軍の特殊兵器を
問題に含ませるは困難

【東京十二日發電】

奏員會招集を
支那より要求
事務總長宛

【東京十二日發電】

我邦州領事館
を熊嶺で使用
共同防衛案
國境合議を通過

【東京十二日發電】

米英務省の
豫算削減か

【東京十二日發電】

更新レチフトの
教育行政合會
中期刊行から
沖本氏が出馬

【東京十二日發電】

國民政府
郵稅値上げ
例口一タリー制

【東京十二日發電】

皇軍凱歌の中に
大東亜戦争第二年を迎ふ
陸海軍記念祭
東京市内の祝賀行事

【東京十二日發電】

●東京ビヤホール
●浦和市
●中山太郎商店
●國松洋服店
メダル

（内務部警保局許可）

大噴出を見た 生肉崎石油瓦斯坑

（上）は猛烈な勢ひで地下から噴き出してゐる瓦斯（下）は同所櫓の遠望

郡大蕃人二千名を集團移住せしむる案

移住先を視察して歸つた 福田警務部長語る

【高雄電話】郡大蕃の移住地を四日間に亘つて實地視察中であつた福田警務部長は十一日夕方歸庁したが郡大蕃の移住地は里大の廣野林地帯であるので目下その解除の手續中である現況は新高郡下ナマカン地帯に比べて遙かに良い所だ水田も四ケ所で二百餘甲は出來る一部地は いくらでも開墾出來る郡大蕃の南部に現在住んでゐるネッコ、マックタル、イバダン、イムツ、ハタン等旧蕃社に二千餘人の移住者出でゝ居る彼らの現在住んでゐる所は理蕃上から見ると僅かに狩猟の為に使用するに過ぎない土地が相当にある所から移住地等も比較的廣面積を要するので、郡大蕃十波の森林地帯は年々彼らの方であるので、開地方森林地を荒らさせない様にするには、今の内適地を求めて彼らを移住させる外にカバンを中心に移住を実行し、平地において定住農耕をやらせ南大平と共に指導開發してゆくつもりである

米價の持ち直りで 農民はホクホク

町への買出し客も殖え バス會社も蘇み返る

【高雄電話】一月上旬以來の米價の解禁に伴ひ米價は好調に轉じ來たり從つて農村から買物その他の用向きで都會への出入者も多くなつて來たものの如く昨年秋頃から本年一月頃迄新州下の要合引點米穀者の如き大いに閑散を呈してゐたものが少なくなかつたが米價の好況と同時に買物客が漸次増加し來たり昨今は昨年の一番不況時に比すると一、二割はよく買自動車等の乗客の如きは三百圓から五百圓から一ケ月の収入が増加し來たつたと

東部巡視の 阿部軍司令官

花蓮港から臺東へ

【臺東電話】阿部軍司令官は臺東の如く十二日午前八時臨時發自動車にて花蓮港出発され公園駅にて駐在所巡査より管内概況を聴取し、八時五十分花蓮港發列車にて臺東へ向つたが駅頭には官民有力者の見送りあり阿部軍司令官は下車駅長、山崎警部、福野清太氏等は臨駅まで見送つた

屏東飛行隊へ來る 値賀聯隊長の面影

河村大尉の談

新任第八聯隊長値賀聯隊長は長大佐は警大佐に改で海外大尉は陸軍に宜敷な方で十位警部長も部内と語り地方からも非常に信望しました第八聯隊の聯隊長の面影は一般に期待されてゐますと思ひます、今にして思ひますと新聯隊長殿から過般臺湾の五倍ほどの面積の樟森はどうか公私の樟森はどうか公私の樟森はどの時分から機に決つて居たのでせう聯隊は大學校の兵學教員其他を経られた部内でも優秀な方ですと云々

花蓮港の 惣田鰹漁

未だ早い

【花蓮港電話】花蓮港の惣田鰹の漁期は過般の寒気の影響をうけて例年より約二週間遅く未だ鰹の群寄なく加禮森山地の初鰹入は五十六尾、南澳中澳地で去る二十六日鰹入をなし十月引揚げの鰹漁は二十六尾で漁子付くのは此處一週間後であらうと

十六日午後一時より臺南公會堂に於て臺湾及上海事變に於ける新聞報道者の現場報告講演の會で多數の参聴を希望すると

山田大尉葬儀

十四日聯隊内で

飛行第八聯隊故陸軍大尉山田保氏の葬儀は十四日午後一時三十分聯隊内で執行する旨に決定した、これより聯隊長、副官、遺族、親戚、公私の諸氏は九日早前九時十三分苦兒の諸氏は九日早前九時十三分苦にて來屏日々大照寺に安置してある故大尉の遺骸を迎つて所定

貧しい大學生の 授業料免除

東京帝大で實行

【東京十二日發本社特電】東京帝大では學生部利厚課に過般の為少なからず、小野塚學長は後援してこの點に著目し、學生部利厚課を鞭立せんとする意向を擁護してゐたが、その一端として貧困學生に對する學費等を與ふべき授業料免除案を提議し、三月十五日の評議會で學費の支出を決めて用意なる學生中、成績良好にして品行方正なるもの二百名を選定として授業料を免除する學期改正案を通過、三月一日付文部省の認可あつて、四月の新學年から實行する運となり、一つのセンセーションを捲き起してゐるが、從來直轄學校中では三高、山口、總江、弘前、岡山、高知の六校に之に類似の施設があるが、大學にあつては東京帝大が先陣を作つた譯で、他の大學に及ぼす影響は大ならんと見られてゐる

臺南州農會

養鶏普及改善

臺南州農會では先般來州下各地に亘り養鶏會及び養鶏の改善組合を立ちて著しく昨今漸く其効果を

高雄州下の 水利組合豫算

前年より卅二萬圓增

【高雄電話】高雄州下の水利組合は十九組合を擁するがこれら組合の七年度豫算は百二萬二千三百三十五圓を記し組合の總多豫算は一萬二千餘甲の開墾面積を有し しかも本年度から開山郡大寮庄水利組合は工事に著手した旨公組合の四十八萬七千八百四十三圓で最少は六龜組合の三千五百八圓にて この總豫算を前年のそれに比すれば三十二萬二千三百五十七圓の増加を示せるは各組合の繁榮上切の關係によるものである、組合組織は繁榮三ケ月外三名は即金各三十圓に即決處分された

博徒にお灸

【嘉義電話】嘉義郡大林庄大林一三八番地五犯罪者（ヨ）同庄蔡一五九番地前科一犯御殿場（ヨ）同所同番地前科一犯御殿場（ヨ）の四名は本年三月はじめより今日迄毎晩方に於て保日の如く四色牌と稱する賭博を繰返し来たつた事發し所轄警察官は昨日所員に檢挙され十二日郡警察部西村部法主任係で取調べの結果江鶴鶴は懲役三ケ月外三名は即金各三十圓に即決處分された

世界の奇觀

直立八千尺に及ぶ 清水の大斷崖

地球上の一奇蹟だ…と ブラウン博士の激賞

【花蓮港電話】加發飯店の政師ブラウン博士一行五名は昨夕の汽車で來港したがブラウン博士は驚嘆したが地球上の一奇蹟だ…と驚嘆の連發を下し現場を視察の為に出發した、清水山のギルド瓦斯は海面直立八千尺に達し高さ三千尺の斷崖であつて、自動車も通じる全く驚嘆に値する、大理石のドライブウエイとしるものは自分が見て歩いた歐洲の隈りでは先づ世界の大奇觀であると讃嘆する、自分は西ア自動車を飛ばして觀に入りしたのであつた……云々と口を極めて賞

高雄州下の水利組合豫算

前年より卅二萬圓增

【高雄電話】高雄州下の水利組合は十九組合を擁するがこれら組合の七年度豫算は百二萬二千三百三十五圓を記し組合の總多豫算は一萬二千餘甲の開墾面積を有し しかも本年度から開山郡大寮庄水利組合は工事に著手した旨公組合の四十八萬七千八百四十三圓で最少は六龜組合の三千五百八圓にて この總豫算を前年のそれに比すれば三十二萬二千三百五十七圓の增加を示せるは各組合の繁榮上切の關係によるものである、組合組織は繁榮三ケ月外三名は即金各三十圓に即決處分された

霧社事件の武勲者 廣田大隊長榮轉

花蓮港より鳥取へ

【花蓮港電話】花蓮港分屯大隊長として霧社事件に出動の廣田大隊長は方面に殺戮を重ねて遂に霧社の大隊長は十一日朝鳥取の歩兵四十聯隊附に補せられ十七日頃後の榮轉であるが同大隊長は榮庵

卵孔稻苗の配付を受け解化實驗を行ひ一般當業者に參觀せしめ同種實驗法に有機肥料の向上に資し尚ほ施肥法、植付法、一般希望者に對し種下げを行ふ者以上となる見込みであると

▲疫病の防遏　霍亂コレラに對しては各會社に血清を備へ檢査の經驗に勉め且つ疾病に對しては早期診療を行ひ以て死亡率の減少を圖る筈である。岡本業の成否は一に有能技術にあるので時々技術員を巡回せしめ實地指導又は講習等に依り當業者の知識向上を圖る事となつた

田村博士

花蓮港著

【花蓮港電話】田村博士一行は昨夜の通り十一日總督を視察したが花蓮港よりベレフンまで官舎前出發、小川、福井、中村、林子敬氏等の出迎へを受け午後六時半花蓮港に到着、旅館眞陽館に入つた

臺南での喜多代議士（本廣町店舗建築場視察の所）

病苦での厭世自殺

【高雄電話】高雄市北野町二ノ一ノ九の安某（ヨ）に十一日午後五時頃自宅裏庭で縊死をとげてゐるのを家人が發見したが原因は病苦を苦に入水自殺したものらしい

自動車で瀕死の重傷

【臺南電話】十一日午前一時頃、臺南市本町四丁目四番地に於て市内電

支拂人夫賃の殘り 千二百圓を盜まる

太田組出張員の大痛事 下淡水溪工事場に於て

【屏東電話】屏東郡里港庄里港下淡水溪工事現場に出張中の太田組店員は十一日夜人夫賃を支拂つた殘り一千二百餘圓を押入の蒲團の間に入れて居たところ紛失してゐるのを夜明と共に發見届出たので目下犯人嚴探中

五右衛門を如でた 大釜も陳列

司法省に刑事參考館

【東京十二日發本社特電】司法省では從來上有名な各種の犯罪者の記錄や證據品を省内地下室の倉庫に納めて置いたが、これを一般に公開して犯罪者の參考に供する為に刑事參考館を設置することゝなつたが、此の設置に當つては、從來の經驗に基づき、犯罪者の參考品を蒐集して、犯罪者の參考に供する為に、

ラヂオ欄

今日の番組 四月十三日(水) J・F・A・K

午前の部

午後の部

夜間の部

通俗天文講座 【午後五時三十分】

▲第二講「天文と諸科學」 見元了

見元了氏

講演 【午後六時三十分】

▼臺灣基督教會の今昔 上興二郎

中繼子供の時間 【午後五時】

お話「コンクリート」 大石義郎

コドモのテキスト十四ページ

ブラウン氏の講演 【午後七時】より

▼紹介 ジョウジ・ウイリアム・マカイ

▼演説 カナダ長老教會海外傳道局長 ダブリュ・ジー・ブラウン

コドモの時間

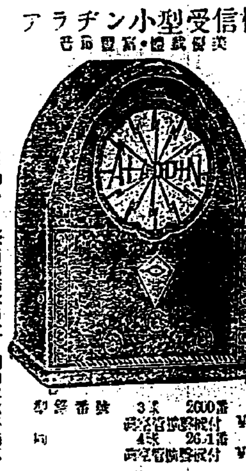
▲花まつり (臺北のみ) 【午後六時】

腦病神經衰弱

淋病、消渇は世評の如く不治なるか?

松井濟民堂製藥所

アラヂン小型受信機



夜の王様・輝く劉光

血壓亢進症の治療に

昭和七年十月廿四日　土曜日　第一万二千三百八号　新報

我然大噴出した牛肉崎瓦斯の價値

来年からガソリンプラントを設

年産八百八十萬圓

鐵鋼團体の統一と復活運動

貿易振興の現況

有力新政策で発展

南滿洲製糖の復活氣分濃厚

銀鈴は百萬圓の負債

東部の産業(二)

肥料入札

三件共落札

銀行動定

五十萬石の古米買入

地方債の增加

内地に於ける貿易物價の眞の評

朝鮮米

大同の鳳凰産業

自作小作に有利

六年は五年より一割一分の減價

東京の謎

（238）　菅原伊國作　伊藤忠順画

南洋と東京との密接な産業関係（中）

人文、地文の未開拓に

着目して利用せよ

江川俊治氏談

山本教授

春の美術（二）

―独立展を観る―

波多治郎

独立展中

大和絵と

裸婦素子

鉛筆

（三口M作）

原作　村田明雄
画伯　高橋宣

板垣

歯痛

●歯痛頭痛に　カホカ　ハ　ー　ロ●

道は一つ　手軽で安価な　ケロリン

催眠鎮静剤

ケロリン　Kelorin

BAYER

極楽花

コラムとアパート

東京の宵3

●定規募集圖告廣●

金賞

一等　金壹百圓

二等　金五十圓

三等　金二十圓

佳作　酒地地地

入選　五十名

●定規募集文告廣●

金賞

一等　金壹百圓

二等　金五十圓

三等　金二十圓

佳作　酒地地地

入選　五十名

七年度追加豫算案 十二日の閣議で可決

滿洲事件費は別の機會に決定

【東京十二日發電通】十二日の定例閣議は午前十時開會、七年度追加豫算案を上程し、高橋藏相より「…」を可決した

總豫算と各省別内譯

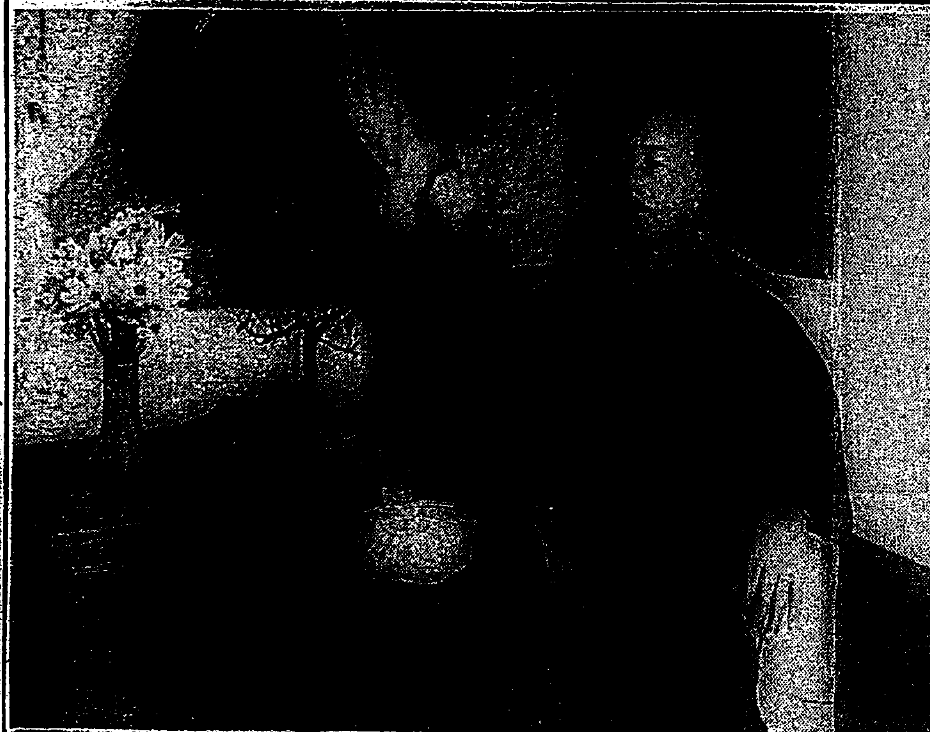
【東京十二日發電通】十二日の閣議で決定した昭和七年度一般會計豫算（追加豫算を含む）は左の如し（單位千圓）

歳入	
經常部	一、二六四、六四一
臨時部	二七九、六〇三
普通歳入	三八〇、九〇四
公債金	二四一、五〇九
計	一、五四四、二四四
歳出	
經常部	一、一六九、四五一
臨時部	三七四、七九三
計	一、五四四、二四四

歳入歳出差引過不足なし

各省別内譯左の如し

	經常部	臨時部
皇室費	四、五〇〇	
外務省	一五、七九七	三、八二四
内務省	四六、八〇一	三〇、五五八
大藏省	三〇三、二一六	一五、〇五八
陸軍省	一六六、三二六	五〇、八八二
海軍省	一四〇、七六六	九八、五九六
司法省	三三、二二一	五二〇
文部省	一二八、〇〇七	六、〇九六
農林省	二七、七六三	二七、七四三
商工省	四、五三四	六、二五四
遞信省	二九八、三七六	三九、九六五
拓務省	二、一四九	二〇、二六五



植民地豫算

【東京十二日發電通】昭和七年度植民地豫算は十二日閣議に左の如く報告された（單位千圓）

臺灣總督府

歳入　公債　三、〇〇〇　その他　九三、三六〇　計　九六、三六〇

歳出　經常部　七七、一〇六　臨時部　一九、二五三　計　九六、三六〇

朝鮮總督府

歳入　公債　一九、二四〇

關東廳

樺太廳

南洋廳

公債發行豫定額 二億五千四百萬圓

四、五兩月の滿洲事件費を含めば 三億千四百萬圓となる

【東京十二日發電通】七年度發行豫定額は二億五千四百八十三萬圓で四、五兩月の滿洲事件費を含めば三億千四百七十萬三千圓となつてゐる

◇一般會計

總額　二四一、五〇九

滿洲事件費　五九、五一九

赤字及事業公債　一八一、九九〇

◇特別會計

總額　七三、九一九

內事業六〇、滿洲費三五四

鐵道事業	四九、〇〇〇
朝鮮事業	一九、二四〇
臺灣事業	三、〇〇〇
樺太事業	一、〇〇〇
關東局	九五四
兩會計合計	

赤字及事業公債	二五四、八〇三
滿洲事件費	五九、八七三
計	三一四、七〇三

公債發行の豫定より增加は遺憾

高橋藏相の談

【東京十二日發電通】高橋藏相は語る 滿洲事件費はまだ全部決まつてゐないが七年度豫算は一通り出來た、公債の發行が豫定より殖えたのは遺憾であるが…

督府實行豫算

閣議報告の內容

【東京十二日發電通】七年度臺灣總督府實行豫算は左の如く大藏省と諒解成り十五日の閣議に決定することとなつた（單位千圓）

經常部　七七、一〇六

臨時部　一九、二五三

計　九六、三五九

新規事業の主なるものは

航空補助費　七〇

飛行場新設費　二〇

思想取締費　五〇

見参記（七）

小杉武司少將

雨に打たれる コスモスに同情

村夫子然たる好々爺 榮轉して近く內地へ

小杉武司少將も今日となつては既に臺灣軍參謀長でない、がキシヤが小杉さんを訪問したその日までは（それはちよつと前で）臺灣軍參謀長小杉武司閣下だつたのである。

…（渡邊國弘）

基隆老鰻團三巨魁と殊勳の刑事連

本年度徵兵の身體檢査日割

鬼塚君の投球に 遞信部が美事三振

赴任間際に斷はらる

母親の反對

バス十六臺 新規に購入

臺北市が本年度に 五月二十日頃到着

人絹を本絹と稱し 三千圓を詐取

臺中に潛伏中の 三犯人を逮捕

兵匪頭道溝を 襲撃準備

續いて 桃園郡巡視

アンデス山脈の 三火山爆發

內海知事 中壢初巡視

乃木 演習

北満で旅客空輸 二十日中に開始

新渡戶博士 十四日渡米

茂山附近 匪賊勢力增加

我部隊苦戰

肥後の駒… 旅の風來坊 落第生

漢文臺灣日日新報

停戰交涉停頓
聯盟方面活動再燃
聯盟欲知美國務長官意向 然後積極的活動

十一日漢府電。上海日華停戰會議。有決裂狀態。其詳報已入當地。國聯務長官司科遜氏。十五日將到著。自然對於日華約爭問題。聯盟活動。似將再燃。今週末必開十九國委員會。中國代表都。有將停戰交涉。移於聯盟之意。十九國委員會開催時。依中國要請。或不得已。對於日本。謂不附期限。之撤兵公約。結局與沿據無異。又撤兵不可附帶政治的條件。換起注意。當委員會。關於此事。當不再發動作。聯盟以太如司科遜長官。關同同感意向之間。不出以積極的態度也。

絕對拒顧入國
滿洲國一邊意向

十二日奉天電。滿洲國顧維鈞拒否。調查團對其同道滿洲國政府見解。一行若決定顧意加一行。一行抵山國時。應將情通知滿洲國。現在只為顧維鈞一個問題。若非上調查則不達調查員本來之目的。滿洲國為此問題。許可顧氏入國。還對不能。如調查團來滿中止。而顧維鈞入國。絕對阻止。又調查員團來滿。鄭重至奧地。以便委員之調查。滿洲國政府。已準備無道遇云。

國府共同防侮案
已通過國難會議

十三日洛陽電。國難會議。共同防侮案昨日通過。其內容如左。對侵國家政治之獨立。領土。行政之敵人。政府以武力與外交。至最後抵抗。有若反此條約。不得簽印。又政府于此實行中。國民援助政府之共同防侮。

中國求開
十九國委員會

十一日奉府電。中國代表都。本日對事務總長卓問陶氏。要求十九國委員會於今週末招集之。但不知中國以如何目的。要求召集也。

匪賊三百
占領涼水泉子
迫朝鮮國境

十一日局子街電。王德林部下一部約三百。占領涼水泉子一帶。更欲侵朝鮮國境。十一日朝。有進東之報。我軍目下嚴戒中。

皇后陛下
下賜牛乳
乳兒保護週間

十二日東京電。皇后陛下素關心我國乳幼兒保護事業。此次中央社會事業協會。于內務文部兩省後援之下。五月二日起。至八日一週間。東京府其他全國各府縣一齊。欲主催乳幼兒保護週間。對于發養不良幼兒。依東京府下牛乳配付全國乳幼兒哺育所。無料供與牛乳。組合總數。無料供與牛乳。

南總督二行
自東而南

初巡管內南總督一行。將由東部方面入高雄。擬于十五日午前十時二十九分抵臺南驛。今川臺南知事坂口警務部長其他。至高雄迎接。同車到南。由驛頭直抵臺南神社。開山神社。正式參拜。十一時十五分發臺南州。于知事公館。接見州奏任待遇以上。中等學校長等。然後受一般官紳訪問。次知事報告。決議自來十六日起。每月二日。為防過作業日。並於是日。設布告。傳單一萬張。警察官。壯丁團。保甲役員其他。一齊出動。極力宣傳云。

北州教育課思想
訓練磋商會

臺北州教育課。十三日午前九時。于州會議室。會集州下中等學校長。教務主任。生徒監督主任。舍監等。約四十名。開思想的訓練所開磋商會。是日中瀨知事訓示。就生徒訓育所開磋商外。有大浦視學官。藤官練習所主任八氏講演云。

基隆水產業者
開座談會

基隆漁業組合。手綱組合。臺灣鰹節組合等。有臨監官。乙非巡查在場。急為整理二女。與山木大竹巡查。捕兇。扶入英美醫院治療。聞中一女。即有夫之婦。現在妊娠。查其原因。為其姦夫。自不少也。

高馬間定期船
不停基隆

大阪商船會社。馬公高雄間定期船同城丸。安換一艘丸。該船于十二日就該航路。同時三等分甲乙。從前該船金三圓。五十錢。今回改甲三圓。乙二圓。又該船每日一往復。午前十時出高雄港。下午六時入港。不停於基隆云。

山本勝田二氏難就
政府若薦市來氏
則軍部當承諾

十二日東京電通特電。山本條太郎氏。因軍部反對的氣勢。不輕就任滿鐵總裁。一方對于候補者勝田主計氏。軍部反感更濃厚。山本氏如拒絕就任。後任之銓衡。當難推勝田氏。即山本氏拒絕就任。政府更推薦市來乙彥氏。當為承諾也。

定例閣議決定
追加豫算案

十二日東京電。十二日定例閣議。午前十時開會。上程七年度追加豫算案。高橋蔵相說明。財源枯渴之際。不能等待省全部要求。殊為遺憾。各閣僚對蔵相。更為要求額承認折衝。蔵相對此一一答辯。原案可決。而各省就追加豫算不承認。希望于來年度豫算考慮。又滿洲事件費。另為決定。正午散會。

七年度總豫算
歲出歲入相符

十二日東京電。十二日閣議所決定昭和七年度。一般會計實行豫算(全追加豫算)如左(單位千圓)

▲歲入　經常部一、二六四、六四一。臨時部二七九、六〇三。計一、五四四、二四四。

▲歲出　經常部一、二六九、四五一。臨時部三七四、七九三。計一、五四四、二四四。

歲入歲出相符。

七年度植民地豫算

十二日東京電。昭和七年度植民地豫算。十二日閣議如左。(單位千圓)

▲朝鮮總督府

歲入　公債一九、二四〇。其他一、一九二、二。計二一四、五一二。

歲出　經常部一、六、二九八。臨時部五一、一一二。計二一四、五一二。

▲臺灣總督府

歲入　公債二、〇〇〇。其他九、〇一四。計九、〇一四。

歲出　經常部七、三六〇。其他一、六五四。計八、〇一四。

▲關東廳

歲入　公債四五〇。其他一九、五四〇。計一九、九九〇。

歲出　經常部一、六、二八三。臨時部三、七〇六。計一九、九九〇。

▲樺太廳

歲入　公債一、〇〇〇。其他二、四一六。計三、四一六。

歲出　經常部一、六、一五七。臨時部六、〇五九。計三、四一六。

▲南洋廳

歲入　公債無。其他六、〇一四。計六、〇一四。

歲出　經常部二、六、五。臨時部三、三四九。計六、〇一四。

後任總裁問題
山本氏不表明諾否
政府軍部疏隔須先解決

十二日東京電。山本條太郎氏。去九日受大養首相。交涉為滿鐵總裁。約欲考慮而辭觀四圍狀況。諾否於未回答。山本氏之總裁受諾。已有相當難色。蓋荒木陸相。公然表明反對內田總裁意思。若氏不顧慮此等關係而就任。則軍部反感益甚。到底滿鐵非業。難期圓滿遂行。此際政府。關內田總裁辭任。須與軍部完全諒解。為先決問題。故無容易受諾之色。而大養首相交涉山本氏為後任總裁時。雖有軍部反對。然合意逐行政府方針。政府軍部意見之疎隔。今後如何解決。堪為注目云。

時評

滿鐵總裁後任。政府擬補山本氏。軍部則主留內田伯。其關滿蒙政見。為或為國民所受歡。為內年來本國誌。發松花江鐵橋。誠日華接收區域。經已解決。而華軍不可侵入問題。兩可窺見者。但我對案。在情之意尚乖離耶。

○

德國賓臨達元帥。再當選大統領。年八十有八歲。而為精力絕倫。著於開齊。

○

劉明朝君。滿洲之行。昨已首途。傳者謂其將就局長席。為中人材濟々。乘此以結滿因緣如何。

○

北區設之公園。竣時之無利有之類。而太平町六丁目。至九丁目。行人如織。亦無庶北大路。居民不平。言也。

○

滿鐵總裁後任。政府擬補山本氏。軍部則主留內田伯。其關滿蒙政見。為或為國民所受歡。為內年來本國誌。發松花江鐵橋。誠日華接收區域。經已解決。而華軍不可侵入問題。兩可窺見者。但我對案。在情之意尚乖離耶。

○

德國賓臨達元帥。再當選大統領。年八十有八歲。而為精力絕倫。著於開齊。

○

劉明朝君。滿洲之行。昨已首途。傳者謂其將就局長席。為中人材濟々。乘此以結滿因緣如何。

○

北區設之公園。竣時之無利有之類。而太平町六丁目。至九丁目。行人如織。亦無庶北大路。居民不平。言也。

○

基隆海產組合
協議改善

基隆海產物商組合。去十一日午後二時。假同風會館。開役員會。協議組合改善問題。三河商行。提議組合解散。另組織同業組合。其理由謂從來之組合。往々決議不履行。其自變而後能。若有自覺。以現在之組合改善。亦無不可。且同業組合之規約。亦未知其詳。故欲先研究同業組合性質。待不結束。殊難強制。須待次回會合。再為討議云。

中野正剛氏一派
五月下旬將樹立新黨
依統制經濟樹立政策
資國民之國際的進出

十一日東京電。中野正剛氏一派。風雲組織。新黨。已決意同旅活躍。別來著手準備。而中野氏等新黨。欲修正資本主義。依統制經濟。樹經濟政策。一方欲增大國民國際的進出。以是正從來國際協約之領土觀念。為其綱領。以五月下旬。將為實行云。

水產課長出差滿鮮
開拓臺灣特產販路
一說有謂劉氏此行將來宦途於滿洲國

督府水產課長。劉明朝氏。去六日奉委出差於東京。錦朝靜岡。山口各府縣。錦朝輪東渡。豫定四十二日間。於南滿洲各地調查內鮮水產業。並拓臺灣物產販路。滿洲國。蒙古。臺灣物產。蒙。鹽。鹽。其他。特產課於年秋。曾派員前往滿鮮視察。將來臺滿貿易。定有厚望。聞滿洲國謝外交部長。最近驟聽我國拓殖文相。為臺之士。為滿洲國官吏。或欲員者。兩者各為。公務方便。每期。國謝。總長。為人最初任行政官。總奏官者。十載官途。拓正念。故者奉委出差。調查新國家殖產要務。如有可展。其發足處。或與入滿洲國。結仕官因緣。即此行政。為滿洲國殖產或農業方面之局長。亦未可知。而殖田督府殖產局長。則謂如明朝君或臺南州勸業課長茂雲君其人。背於朝北之地。發揮其平素蘊蓄貢獻臺。滿產業。關所歡迎。前與謝總長。為人最初高文登第。亦